

走行チェックシート

日付	2013年7月28日 (日)		時間	11:30 ~ 19:30		イベント	2013鈴鹿8時間耐久ロードレース	
天気	晴れ		マシン	GSX-R1000 L3		ライダー	今野由寛&寺本幸司&中本郡	
コース	名称	鈴鹿サーキット			気温	30 °C		
	コンディション	ドライ			気圧	1005 hpa		
	路面温度	(計測時間 12:30)			湿度	42 %		
エンジン	スパークプラグ	NGK R0373A-10			エンジンOIL	シェルアドバンス RMG-001 #40		
	ファイナルレシオ	16 x 42(2.625)						
トランスミッション	1st	B(35/16)	2.18		4th	B(31/21)	1.48	
	2nd	B(34/18)	1.89		5th	B(21/28)	1.33	
	3rd	B(36/22)	1.64		6th	C(25/32)	1.28	
フロント	パーツ名	SHOWA(760mm)			TEN	-10		
	スプリング	9.75	N/m		OIL	SR6 #5		
	自由長	-	mm		油面	195 mm		
	イニシャル	13	mm		残ストローク	mm		
	COMP	-10			突き出し	STDトップブリッジで0mm突き出し mm		
リア	パーツ名	SHOWA(321.5mm)			TEN	-15		
	スプリング	100.0	N/m		残ストローク	mm		
	自由長	-	mm		リンク	SPL		
	イニシャル	11	mm		リンクロッド	- mm		
	COMP(HI)	+2			車高	STD+26mm ピボット-2mm スイング長599mm mm		
	COMP(LO)	-13						
タイヤ	フロント				リア			
	銘柄	ダンロップ			銘柄	ダンロップ		
	サイズ	125/80/R420			サイズ	210/60R420		
	エア圧	2.1			エア圧	1.5		
チェック	順位	19	位		ベストラップ	2' 10.042(今野) 2' 10.869(寺本) 2' 13.184(中本)		
	水温		°C		油温	°C		
	ガソリン	IN	-	ℓ		走行距離	km	
OUT		-	ℓ		燃費	km/ℓ		

<コメント>

さて始まりましたよ♪真夏の祭典！鈴鹿八時間耐久レース！

今年は梅雨明けが早かったのですが、梅雨の戻り？もあつたりと相変わらず天候は不順です。

今回のレースは耐久なのでペアライダーが必要です。急なお願いにもかかわらず快く引き受けてくださったのが寺本幸司選手と中本郡選手！

寺本選手は説明不要の頼れる兄貴！日々進化し続ける侍。以前もMotoMapでペアを組み、近年は世界耐久選手権に参戦してスタミナ面では問題なし！

中本選手は全日本筑波J-GP2クラスでキレのある走りでもトップを走行するなど、今後に期待のライダーです。

事前テストからアベレージタイムの底上げと燃費の確保を課題として取り組み、目標は昨年より一秒上回ることでした。

ロングランを重ねた結果目標燃費はなんとかクリアでき、タイムも悪くなく許容範囲内で事前テストを終えました。

寺本選手は走行ごとに安定してタイムを上げていき、自己ベストを更新し続けながらの走行でした。

中本選手も体格の差が大きくポジション的には自由度が無いマシンで、少ない走行時間にもかかわらず着実にタイムを上げていきます。

レースウィークが始まりましたが、前週に4輪が走行したことで路面コンディションが悪く、グリップしないためバネレートを下げて対応。

走るごとにコンディションが良くなってきていますが、思ったところまでタイムが出ません。冷静に見て周りとの差が出てきているのは決勝を見据えると厳しい状況です。

更に決勝日は暑くなりそうなのでタイヤへのプッシュもきつくなりそうです。

今野選手が何とか予選で2' 10.042までタイムを出しましたが14番手でTOP10には残れず。

決勝レースがスタート！一周目は大きく順位を落として19位！その後こつこつと順位を上げていき二回目の寺本選手の走行の8周目で逆バンクでフロントから転倒してしまいました。幸いマシンも大きなダメージが無かったので修復して再スタート。

しかし夕方に雨予報が出ていて、夜のセッションは寺本選手のほうがタイムが良かったので、2人交代でレースを進めると夜で雨のときに寺本選手を投入できない可能性が出てきました。

そこでタイムの落ち幅を計算して中本選手に1セッション乗ってもらうという判断をしました。

最後寺本選手への交代後に雨が降り出し、PITインのサインを出してレインタイヤの準備をしましたが、寺本選手の好判断でスリックでそのまま走行をつづけました。そこで順位を一つ上げて19位になりましたが、チェッカーが振られ8時間のレースが終わりました。

やはりレースは思い通りにいかないと改めて思いました。

しかし多くの方々に支えられてレースが出来ています。

協力していただいたスポンサー各社様、応援していただいた皆様のおかげです。

次戦以降も全力でレースをしていきます。

応援ありがとうございました。

レーシングサプライ
畑中 健太郎